



2023年11月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月12日

上場会社名 北興化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4992 URL <https://www.hokkochem.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐野 健一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 綿井 聡 TEL 03-3279-5152
 定時株主総会開催予定日 2024年2月22日 配当支払開始予定日 2024年2月26日
 有価証券報告書提出予定日 2024年2月22日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2023年11月期の連結業績（2022年12月1日～2023年11月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期	45,227	0.8	4,417	△6.6	5,474	△7.3	3,724	△11.6
2022年11月期	44,864	11.4	4,727	65.0	5,905	53.6	4,214	44.0

(注) 包括利益 2023年11月期 9,153百万円 (100.5%) 2022年11月期 4,566百万円 (5.1%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年11月期	137.50	—	8.8	8.8	9.8
2022年11月期	155.60	—	11.6	10.8	10.5

(参考) 持分法投資損益 2023年11月期 ー百万円 2022年11月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年11月期	67,479	46,770	69.3	1,727.05
2022年11月期	57,566	38,240	66.4	1,412.06

(参考) 自己資本 2023年11月期 46,770百万円 2022年11月期 38,240百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年11月期	4,834	△1,980	△1,121	6,628
2022年11月期	3,869	△2,809	△691	4,814

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年11月期	—	10.00	—	11.00	21.00	569	13.5	1.6
2023年11月期	—	12.00	—	12.00	24.00	650	17.5	1.5
2024年11月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00		25.1	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	1.7	4,120	△6.7	5,100	△6.8	3,450	△7.3	127.40

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
② ①以外の会計方針の変更：無
③ 会計上の見積りの変更：無
④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

2023年11月期	29,985,531株	2022年11月期	29,985,531株
2023年11月期	2,904,485株	2022年11月期	2,904,387株
2023年11月期	27,081,081株	2022年11月期	27,081,352株

(参考) 個別業績の概要

2023年11月期の個別業績（2022年12月1日～2023年11月30日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年11月期	41,457	2.4	3,130	4.3	4,448	6.8	3,278	12.1
2022年11月期	40,485	9.7	3,000	34.1	4,163	29.9	2,923	19.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年11月期	121.03	—
2022年11月期	107.94	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
2023年11月期	63,066	67.3	42,437	64.6	—	1,567.05	
2022年11月期	53,750	64.6	34,739	—	—	1,282.76	

(参考) 自己資本 2023年11月期 42,437百万円 2022年11月期 34,739百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想に関しましては現時点で得られた情報に基づいて算定したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当	5
2. 企業集団の状況	6
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	7
4. 連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 連結貸借対照表	8
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
連結損益計算書	10
連結包括利益計算書	11
(3) 連結株主資本等変動計算書	12
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	14
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(会計方針の変更)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	20
5. 個別財務諸表	21
(1) 貸借対照表	21
(2) 損益計算書	23
(3) 株主資本等変動計算書	24
6. その他	26
(1) 売上高明細表(個別)	26
(2) 役員の異動	27

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5分類移行に伴う社会活動の正常化が進み、緩やかな回復が続きました。

景気の先行きについて、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。ただし、世界的な金融引き締めに伴う影響や、中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要があります。

国内農業では、農業従事者の高齢化や後継者不足、耕作面積の減少や耕作放棄地の増加など依然として厳しい状況にあります。このような状況下において政府は、食料安定供給・農林水産基盤のさらなる強化に向け、農林水産物・食品の輸出促進、農林水産業のグリーン化（みどりの食料システム戦略の加速化）、スマート農林水産業による成長産業化、食料安全保障の強化の取り組みを推進しております。一方、海外では、世界的な人口の増加や新興国経済の成長を背景として農作物需要の拡大基調が今後も続くと予想されます。

ファインケミカル業界では、半導体市場において足元では在庫調整等による需要減少が続いております。一方で、2024年度以降は緩やかな回復に転じる見通しとされており、グローバル半導体メーカーによる大規模生産工場の建設計画の発表が相次ぐなど、今後も継続的に成長することが期待されます。また、石油化学分野においては、世界的な景気減退、特に中国の不動産市況の影響を受け、外需の低迷が続いております。

繊維業界では、輸送費や燃料、原材料等の高騰が継続し、世界的な金融引き締めにもかかわらず物価の高止まり、為替レートの円安基調が続き、原材料仕入価格に影響を及ぼしました。また、繊維産業を巡る状況は人口構成や市場規模など大きく変化しており、政府は「2030年に向けた繊維産業の展望」や「繊維技術のロードマップ」等を公表し、新たなビジネスモデルの創造、技術開発による市場創出、海外展開による市場獲得、サステナビリティの推進、デジタル化の加速を進めております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、「収益構造改革」、「造り方改革」、「働き方改革」の三つの改革を柱とした5ヵ年経営計画「HOKKO Value Up Plan 2030 1st Stage for Creation」（2021年11月期～2025年11月期）の経営目標達成に向けて、新製品の普及や新規受託品の受注活動に注力してまいりました。

かかる状況下、業績が順調に拡大したこと、コロナ禍からの社会活動の正常化に伴い経営環境について一定の見通しを立てることが可能になったこと等から、現行長期経営計画の目標達成期間を1年前倒しするとともに、中期経営計画の期間を5年2期から3年3期へと変更し、成長戦略等をより具体化・明確化しました。

こうした中で、2024年度を初年度とする第2次3ヵ年経営計画（2nd Stage）においては、3つの改革と成長投資を柱とし、長期業績目標達成への重要な3ヵ年と位置付け、「収益基盤・生産基盤の強化」に取り組んでまいります。

当連結会計年度における当社グループの売上高は、農薬事業における販売が順調に推移し、加えて為替が円安に進行したことから、45,227百万円、前連結会計年度比363百万円（0.8%）の増収となりました。

利益面では、利益率の高いファインケミカル事業における売上高の減少等により、営業利益は、4,417百万円、前連結会計年度比311百万円（6.6%）の減少となりました。また、経常利益は、為替差益の減少もあり、5,474百万円、前連結会計年度比431百万円（7.3%）の減少となりました。

この結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、3,724百万円、前連結会計年度比490百万円(11.6%)の減少となりました。

事業別の状況は以下のとおりです。

〔農薬事業〕

農薬事業の売上高は、2023年度の農薬販売価格が値上げになったこと、海外販売（アジア向け）が順調に推移したことから、25,931百万円、前連結会計年度比1,270百万円(5.2%)の増収となりました。営業利益は、新工場の減価償却費負担増等により、65百万円、前連結会計年度比6百万円(7.9%)の減少となりました。

〔ファインケミカル事業〕

ファインケミカル事業の売上高は、医薬分野やその他分野（主にエネルギー関連）が堅調に推移しましたが、樹脂分野における石化用触媒等や電子材料分野で海外経済減速等の影響を受けて需要が減少し、中国子会社における中国国内の販売も減少したことから、17,470百万円、前連結会計年度比1,149百万円(6.2%)の減収となりました。営業利益は、原材料価格低下等原価低減や物流費の減少があったものの、売上の減少により、4,269百万円、前連結会計年度比352百万円(7.6%)の減少となりました。

〔繊維資材事業〕

繊維資材事業の売上高は、環境配慮型の再生繊維素材の販売増加により、1,813百万円、前連結会計年度比243百万円(15.5%)の増収となりました。営業利益は、売上が増加したことにより、93百万円、前連結会計年度比53百万円(130.7%)の増加となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債および純資産の状況

当連結会計年度末における資産の残高は67,479百万円となり、前連結会計年度比9,914百万円の増加となりました。内訳として、現金及び預金、商品及び製品、投資有価証券が増加しております。

負債の残高は20,709百万円となり、前連結会計年度比1,384百万円の増加となりました。内訳として、繰延税金負債が増加した一方、未払金が減少しております。

純資産の残高は46,770百万円となり、前連結会計年度比8,530百万円の増加となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(単位：百万円、単位未満四捨五入)

科 目		前連結会計年度	当連結会計年度
現金及び現金同等物の期首残高		4,321	4,814
	営業活動によるキャッシュ・フロー	3,869	4,834
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,809	△1,980
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△691	△1,121
	現金及び現金同等物に係る換算差額	125	81
現金及び現金同等物の増減額		493	1,815
現金及び現金同等物の期末残高		4,814	6,628

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、4,834百万円の収入超過（前連結会計年度は3,869百万円の収入超過）となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益および減価償却費の計上によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、1,980百万円の支出超過（前連結会計年度は2,809百万円の支出超過）となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動によるキャッシュ・フローは、1,121百万円の支出超過（前連結会計年度は691百万円の支出超過）となりました。これは、主に配当金の支払によるものです。

(現金及び現金同等物の期末残高)

当連結会計年度の現金及び現金同等物の期末残高は期首残高より1,815百万円増加し、6,628百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年11月期	2022年11月期	2023年11月期
自己資本比率 (%)	65.8	66.4	69.3
時価ベースの自己資本比率 (%)	44.1	42.8	39.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	0.6	0.4	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	95.6	87.0	176.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しています。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しています。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しています。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としています。

(4) 今後の見通し

当社グループは、2024年度を初年度とする第2次3か年経営計画(2nd Stage)においては、3つの改革と成長投資を柱とし、長期業績目標達成への重要な3ヵ年と位置付け、「収益基盤・生産基盤の強化」に取り組んでまいります。

〔農薬事業〕

国内販売におきましては、国内農薬市場が横ばいで推移する中で販売競争の激化が進んでいくものと予想され、園芸分野での販売拡大を目指すとともに、農薬市場の拡大傾向が続く海外販売におきまして、農薬登録取得国の拡大と合わせて、販売拡大を目指してまいります。

〔ファインケミカル事業〕

品質と価格の両面において顧客の要望が高度化する医薬・農薬分野や、自動車のエレクトロニクス化や新たな情報通信技術の進展等により拡大が見込まれる電子材料分野における開発競争、価格競争の激化、化学品に対する世界的な規制の強化が進んでおります。こうした中で、生産能力の増強や新技術の研究開発に努め、主要3分野(樹脂、電子材料、医農薬)の販売拡大を目指してまいります。

〔繊維資材事業〕

新規顧客、環境対応型繊維素材等の新商品開発による販路拡大を目指すとともに、当社グループ企業との営業面および内部体制面でのシナジー効果発揮にも注力してまいります。

以上のとおり、各報告セグメントの事業環境は今後も厳しい状況が見込まれますが、次期の業績見通しについては、売上高は46,000百万円、営業利益は4,120百万円、経常利益は5,100百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は3,450百万円としています。

(5) 利益配分に関する基本方針および当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への安定的な利益配分の継続を基本方針とし、内部留保の蓄積や成長投資とのバランスを図りつつ、利益の動向に応じた株主還元の実施を目指してまいります。

上記の方針ならびに当期の業績を踏まえ、期末配当金は1株につき12円を予定しています。なお、年間配当金につきましては、中間期1株につき12円を配当させていただきましたので、合わせて年間24円となる予定です。

また、次期の配当金につきましては、中間配当金を1株につき16円、期末配当金を1株につき16円、合わせて年間32円を予定しています。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社、連結子会社5社（北興産業(株)、美瑛白土工業(株)、ホクコーパックス(株)、村田長(株)、張家港北興化工有限公司）および非連結子会社1社（HOKKO CHEMICAL AMERICA CORPORATION）により構成されており、農薬ならびにファインケミカル製品の製造・販売を主たる事業として行っています。

当社グループの事業における位置付けおよびセグメントとの関連は、次のとおりです。

(1) 農薬事業

農薬につきましては、当社が製造していますが、当社で使用する農薬原料の一部は、連結子会社美瑛白土工業(株)が製造しています。

製品の販売につきましては、当社が主として行っていますが、一部の農薬は、連結子会社北興産業(株)が販売しており、連結子会社美瑛白土工業(株)は、バルーン、銅基剤、および白土等を販売しています。

非連結子会社 HOKKO CHEMICAL AMERICA CORPORATION（米国ノースカロライナ州）は、北中南米における農薬市場の調査および当社が販売する農薬製品の普及活動を行っています。

(2) ファインケミカル事業

電子材料原料等のファインケミカル製品につきましては、当社が主として製造していますが、製造の一部は、連結子会社張家港北興化工有限公司（中国江蘇省）が行っています。

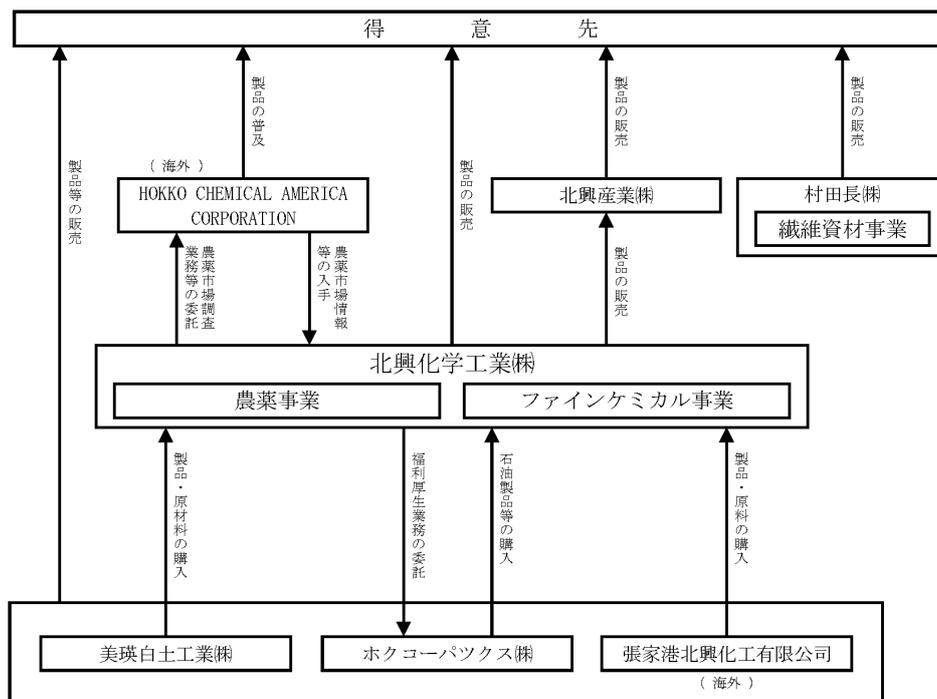
製品の販売につきましては、当社が主として行っていますが、連結子会社北興産業(株)が一部を国内で販売しており、また、連結子会社張家港北興化工有限公司が一部を中国国内等に販売しています。

(3) 繊維資材事業

繊維資材の販売につきましては、村田長(株)が行っています。

(事業系統図)

以上に述べた事項を系統図によって示すと次のとおりです。



※1. 北興産業(株)、美瑛白土工業(株)、ホクコーパックス(株)、村田長(株)、張家港北興化工有限公司は連結子会社です。

※2. HOKKO CHEMICAL AMERICA CORPORATION は非連結子会社です。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性および企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当連結会計年度 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,814	6,628
受取手形、売掛金及び契約資産	11,318	11,166
商品及び製品	11,908	13,402
仕掛品	392	477
原材料及び貯蔵品	5,281	5,454
返品資産	12	13
その他	934	585
流動資産合計	34,659	37,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,516	5,403
機械装置及び運搬具（純額）	4,597	4,169
土地	962	962
建設仮勘定	345	104
その他（純額）	313	336
有形固定資産合計	11,733	10,974
無形固定資産	615	665
投資その他の資産		
投資有価証券	9,790	17,020
長期貸付金	14	8
繰延税金資産	74	71
返品資産	45	50
その他	656	987
貸倒引当金	△20	△19
投資その他の資産合計	10,559	18,116
固定資産合計	22,907	29,755
資産合計	57,566	67,479

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年11月30日)	当連結会計年度 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,548	5,930
短期借入金	97	—
1年内返済予定の長期借入金	1,400	—
未払金	3,012	1,980
未払法人税等	988	678
未払消費税等	9	534
未払費用	3,303	3,253
返金負債	141	136
その他	53	55
流動負債合計	14,552	12,566
固定負債		
長期借入金	—	1,000
退職給付に係る負債	2,595	2,564
繰延税金負債	1,510	3,988
返金負債	546	524
その他	123	66
固定負債合計	4,774	8,143
負債合計	19,325	20,709
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金	2,608	2,608
利益剰余金	26,977	30,078
自己株式	△1,311	△1,311
株主資本合計	31,488	34,589
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,955	11,007
為替換算調整勘定	401	631
退職給付に係る調整累計額	397	543
その他の包括利益累計額合計	6,752	12,181
純資産合計	38,240	46,770
負債純資産合計	57,566	67,479

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)	当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)
売上高	44,864	45,227
売上原価	32,853	33,671
売上総利益	12,011	11,556
販売費及び一般管理費	7,284	7,140
営業利益	4,727	4,417
営業外収益		
受取利息及び配当金	228	319
その他	1,014	794
営業外収益合計	1,242	1,112
営業外費用		
支払利息	42	24
その他	23	31
営業外費用合計	64	55
経常利益	5,905	5,474
特別利益		
投資有価証券売却益	—	22
固定資産売却益	16	1
特別利益合計	16	23
特別損失		
固定資産除却損	102	100
減損損失	20	—
投資有価証券売却損	—	8
その他	7	0
特別損失合計	129	108
税金等調整前当期純利益	5,792	5,389
法人税、住民税及び事業税	1,602	1,479
法人税等調整額	△24	187
法人税等合計	1,578	1,665
当期純利益	4,214	3,724
親会社株主に帰属する当期純利益	4,214	3,724

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)	当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)
当期純利益	4,214	3,724
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	284	5,052
為替換算調整勘定	133	231
退職給付に係る調整額	△65	147
その他の包括利益合計	352	5,429
包括利益	4,566	9,153
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	4,566	9,153

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,214	2,608	23,308	△1,311	27,819
会計方針の変更による累積的影響額			△3		△3
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,214	2,608	23,305	△1,311	27,816
当期変動額					
剰余金の配当			△542		△542
親会社株主に帰属する当期純利益			4,214		4,214
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	3,672	△0	3,672
当期末残高	3,214	2,608	26,977	△1,311	31,488

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	5,671	267	462	6,400	34,220
会計方針の変更による累積的影響額				—	△3
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,671	267	462	6,400	34,217
当期変動額					
剰余金の配当				—	△542
親会社株主に帰属する当期純利益				—	4,214
自己株式の取得				—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	284	133	△65	352	352
当期変動額合計	284	133	△65	352	4,024
当期末残高	5,955	401	397	6,752	38,240

当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,214	2,608	26,977	△1,311	31,488
会計方針の変更による累積的影響額					—
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,214	2,608	26,977	△1,311	31,488
当期変動額					
剰余金の配当			△623		△623
親会社株主に帰属する当期純利益			3,724		3,724
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	3,101	△0	3,101
当期末残高	3,214	2,608	30,078	△1,311	34,589

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘 定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利 益累計額合計	
当期首残高	5,955	401	397	6,752	38,240
会計方針の変更による累積的影響額				—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	5,955	401	397	6,752	38,240
当期変動額					
剰余金の配当				—	△623
親会社株主に帰属する当期純利益				—	3,724
自己株式の取得				—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,052	231	147	5,429	5,429
当期変動額合計	5,052	231	147	5,429	8,530
当期末残高	11,007	631	543	12,181	46,770

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)	当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,792	5,389
減価償却費	1,374	1,920
のれん償却額	39	39
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△246	△165
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△659	—
返品資産の増減額(△は減少)	△56	△6
返金負債の増減額(△は減少)	688	△27
受取利息及び受取配当金	△228	△319
支払利息	42	24
固定資産除却損	102	100
固定資産売却損益(△は益)	△15	△1
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△14
売上債権の増減額(△は増加)	57	189
棚卸資産の増減額(△は増加)	△1,166	△1,716
仕入債務の増減額(△は減少)	△856	379
未払金の増減額(△は減少)	535	△70
未払費用の増減額(△は減少)	59	△49
未払消費税等の増減額(△は減少)	△197	723
その他	△282	5
小計	4,980	6,401
利息及び配当金の受取額	228	319
利息の支払額	△44	△27
法人税等の支払額	△1,295	△1,858
法人税等の還付額	0	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,869	4,834
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	66
有形固定資産の取得による支出	△2,724	△1,971
有形固定資産の売却による収入	29	3
無形固定資産の取得による支出	△33	△49
その他	△80	△28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,809	△1,980
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△149	△99
長期借入れによる収入	—	1,000
長期借入金の返済による支出	—	△1,400
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△542	△622
財務活動によるキャッシュ・フロー	△691	△1,121
現金及び現金同等物に係る換算差額	125	81
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	493	1,815
現金及び現金同等物の期首残高	4,321	4,814
現金及び現金同等物の期末残高	4,814	6,628

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしています。これによる、当連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品別に区分した「農薬事業」「ファインケミカル事業」「繊維資材事業」ごとに国内および海外の包括的な戦略を考案し、事業活動を展開しております。

したがって当社グループでは、「農薬事業」「ファインケミカル事業」「繊維資材事業」の3つを報告セグメントとしております。

「農薬事業」は、農薬製品、農薬原体等を製造・販売しております。「ファインケミカル事業」は、樹脂添加剤、医薬品中間体、電子材料原料等を製造・販売しております。「繊維資材事業」は、繊維資材を販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は営業利益（のれん償却前）ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益および振替高は市場実勢価格に基づいています。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2021年12月1日 至 2022年11月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	24,661	18,618	1,570	44,849	15	44,864	—	44,864
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	10	10	522	533	△533	—
計	24,661	18,618	1,580	44,859	537	45,397	△533	44,864
セグメント利益又は損失 (△)	70	4,621	40	4,732	13	4,745	△18	4,727
セグメント資産	24,600	17,255	1,036	42,891	520	43,410	14,156	57,566
その他の項目								
減価償却費	550	802	7	1,359	15	1,374	—	1,374
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	2,677	1,212	4	3,893	1	3,894	1	3,895

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品の販売等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△18百万円には、セグメント間取引消去21百万円およびのれんの償却額△39百万円が含まれております。

セグメント資産の調整額14,156百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産16,920百万円およびセグメント間の債権債務の相殺消去等△2,764百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	連結 財務諸表 計上額 (注3)
	農業事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,931	17,470	1,813	45,214	13	45,227	—	45,227
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	15	15	520	534	△534	—
計	25,931	17,470	1,828	45,229	533	45,761	△534	45,227
セグメント利益又は損失 (△)	65	4,269	93	4,427	13	4,440	△24	4,417
セグメント資産	25,709	16,938	1,006	43,654	510	44,164	23,315	67,479
その他の項目								
減価償却費	1,053	847	6	1,906	15	1,920	—	1,920
有形固定資産及び無形 固定資産の増加額	656	540	—	1,195	—	1,195	8	1,203

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油製品の販売等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△24百万円には、セグメント間取引消去15百万円およびのれんの償却額△39百万円が含まれております。

セグメント資産の調整額23,315百万円には、各報告セグメントに配分していない全社資産25,252百万円およびセグメント間の債権債務の相殺消去等△1,937百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年12月1日 至 2022年11月30日）

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
34,396	6,654	3,814	44,864

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	合計
10,447	1,286	11,733

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
全国農業協同組合連合会	17,388	農薬事業
信越化学工業株式会社	6,457	ファインケミカル事業

当連結会計年度（自 2022年12月1日 至 2023年11月30日）

1. 製品およびサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
36,170	5,461	3,596	45,227

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	中国	合計
9,568	1,406	10,974

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：百万円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
全国農業協同組合連合会	17,711	農薬事業
信越化学工業株式会社	6,801	ファインケミカル事業

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)

金額的重要性が低いため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)

	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	その他	調整額	合計
当期償却額	—	—	39	—	—	39
当期末残高	—	—	246	—	—	246

当連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

	農薬事業	ファイン ケミカル 事業	繊維資材 事業	その他	調整額	合計
当期償却額	—	—	39	—	—	39
当期末残高	—	—	207	—	—	207

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)	当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)
1株当たり純資産額	1,412円06銭	1,727円05銭
1株当たり当期純利益金額	155円60銭	137円50銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)	当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,214	3,724
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)	4,214	3,724
期中平均株式数 (株)	27,081,352	27,081,081

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. 個別財務諸表
 (1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年11月30日)	当事業年度 (2023年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,106	4,829
売掛金	10,350	10,452
商品及び製品	11,684	12,848
仕掛品	386	471
原材料及び貯蔵品	5,044	5,258
前払費用	17	38
未収入金	666	461
返品資産	12	13
その他	39	336
流動資産合計	31,305	34,706
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,186	3,997
構築物（純額）	739	733
機械及び装置（純額）	3,899	3,196
車両運搬具（純額）	18	10
工具、器具及び備品（純額）	225	255
土地	956	956
建設仮勘定	11	10
有形固定資産合計	10,034	9,158
無形固定資産		
ソフトウェア	46	41
その他	179	256
無形固定資産合計	226	297
投資その他の資産		
投資有価証券	9,511	16,781
関係会社株式	527	527
関係会社出資金	1,230	1,230
長期貸付金	672	130
返品資産	45	50
その他	220	207
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	12,186	18,905
固定資産合計	22,445	28,360
資産合計	53,750	63,066

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年11月30日)	当事業年度 (2023年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,408	5,639
1年内返済予定の長期借入金	1,400	—
未払金	2,585	1,919
未払法人税等	745	639
未払消費税等	1	517
未払費用	3,264	3,224
預り金	974	1,073
返金負債	141	136
その他	6	6
流動負債合計	14,525	13,153
固定負債		
長期借入金	—	1,000
退職給付引当金	2,608	2,448
返金負債	546	524
繰延税金負債	1,311	3,464
その他	22	39
固定負債合計	4,487	7,475
負債合計	19,011	20,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,214	3,214
資本剰余金		
資本準備金	2,608	2,608
資本剰余金合計	2,608	2,608
利益剰余金		
利益準備金	803	803
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	106	101
別途積立金	5,680	5,680
繰越利益剰余金	17,753	20,413
利益剰余金合計	24,343	26,998
自己株式	△1,311	△1,311
株主資本合計	28,854	31,509
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,885	10,929
評価・換算差額等合計	5,885	10,929
純資産合計	34,739	42,437
負債純資産合計	53,750	63,066

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)	当事業年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)
売上高	40,485	41,457
売上原価	30,852	31,803
売上総利益	9,632	9,654
販売費及び一般管理費	6,632	6,524
営業利益	3,000	3,130
営業外収益		
受取利息及び配当金	224	586
その他	993	789
営業外収益合計	1,217	1,375
営業外費用		
支払利息	38	26
その他	15	30
営業外費用合計	53	56
経常利益	4,163	4,448
特別利益		
固定資産売却益	16	0
特別利益合計	16	0
特別損失		
固定資産除却損	86	70
減損損失	20	—
特別損失合計	106	70
税引前当期純利益	4,073	4,378
法人税、住民税及び事業税	1,114	1,173
法人税等調整額	35	△72
法人税等合計	1,150	1,101
当期純利益	2,923	3,278

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)

(単位: 百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
				固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	3,214	2,608	2,608	803	113	5,680	15,368	21,964
会計方針の変更による累積的影響額							△3	△3
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,214	2,608	2,608	803	113	5,680	15,365	21,961
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の取崩			—		△6		6	—
剰余金の配当			—				△542	△542
当期純利益			—				2,923	2,923
自己株式の取得			—					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)			—					—
当期変動額合計	—	—	—	—	△6	—	2,388	2,381
当期末残高	3,214	2,608	2,608	803	106	5,680	17,753	24,343

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,311	26,476	5,662	5,662	32,138
会計方針の変更による累積的影響額		△3			△3
会計方針の変更を反映した当期首残高	△1,311	26,473	5,662	5,662	32,135
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩		—		—	—
剰余金の配当		△542		—	△542
当期純利益		2,923		—	2,923
自己株式の取得	△0	△0		—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)		—	223	223	223
当期変動額合計	△0	2,381	223	223	2,604
当期末残高	△1,311	28,854	5,885	5,885	34,739

当事業年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			利益剰余金合計
		資本準備金	資本剰余金合計		その他利益剰余金			
				固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	3,214	2,608	2,608	803	106	5,680	17,753	24,343
会計方針の変更による累積的影響額								—
会計方針の変更を反映した当期首残高	3,214	2,608	2,608	803	106	5,680	17,753	24,343
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の取崩			—		△5		5	—
剰余金の配当			—				△623	△623
当期純利益			—				3,278	3,278
自己株式の取得			—					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			—					—
当期変動額合計	—	—	—	—	△5	—	2,660	2,655
当期末残高	3,214	2,608	2,608	803	101	5,680	20,413	26,998

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△1,311	28,854	5,885	5,885	34,739
会計方針の変更による累積的影響額		—			—
会計方針の変更を反映した当期首残高	△1,311	28,854	5,885	5,885	34,739
当期変動額					
固定資産圧縮積立金の取崩		—		—	—
剰余金の配当		△623		—	△623
当期純利益		3,278		—	3,278
自己株式の取得	△0	△0		—	△0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)		—	5,044	5,044	5,044
当期変動額合計	△0	2,655	5,044	5,044	7,699
当期末残高	△1,311	31,509	10,929	10,929	42,437

6. その他

(1) 売上高明細表 (個別)

(単位：百万円未満四捨五入)

期 別 事 業 別		前 期 自 2021年12月 1日 至 2022年11月30日		当 期 自 2022年12月 1日 至 2023年11月30日		増 減 (△は減)	
		金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	増 減 率
			%		%		%
農 薬 事 業	殺 虫 剤	5,172	12.8	5,235	12.6	63	1.2
	殺 菌 剤	7,390	18.3	7,861	19.0	472	6.4
	殺虫殺菌剤	4,889	12.1	4,437	10.7	△453	△9.3
	除 草 剤	6,748	16.7	7,965	19.2	1,217	18.0
	そ の 他	389	1.0	360	0.9	△29	△7.4
	計	24,588	60.7	25,858	62.4	1,270	5.2
	ファインケミカル事業	15,896	39.3	15,599	37.6	△297	△1.9
	合 計	40,485	100.0	41,457	100.0	973	2.4
うち輸出							
	農 薬 事 業	3,669	9.1	4,025	9.7	356	9.7
	ファインケミカル事業	4,360	10.8	3,361	8.1	△999	△22.9
	計	8,029	19.8	7,386	17.8	△643	△8.0

(2) 役員の変動

(2024年2月22日付予定)

1. 取締役および監査役

(1) 新任監査役候補

監査役 (社外監査役)	おぐら かずひと 小椋 和仁 (現 全国農業協同組合連合会 本所耕種資材部専任部長)
-------------	--

(2) 退任予定取締役

現 取締役 (社外取締役)	たかやま きよし 高山 清
---------------	------------------

(3) 退任予定監査役

現 監査役	かみはら やすお 神原 靖夫
-------	-------------------

2. 執行役員

選任

執行役員	なかじま りゅういち 中島 隆一 (現 ファインケミカル開発営業部長)
------	--

以 上